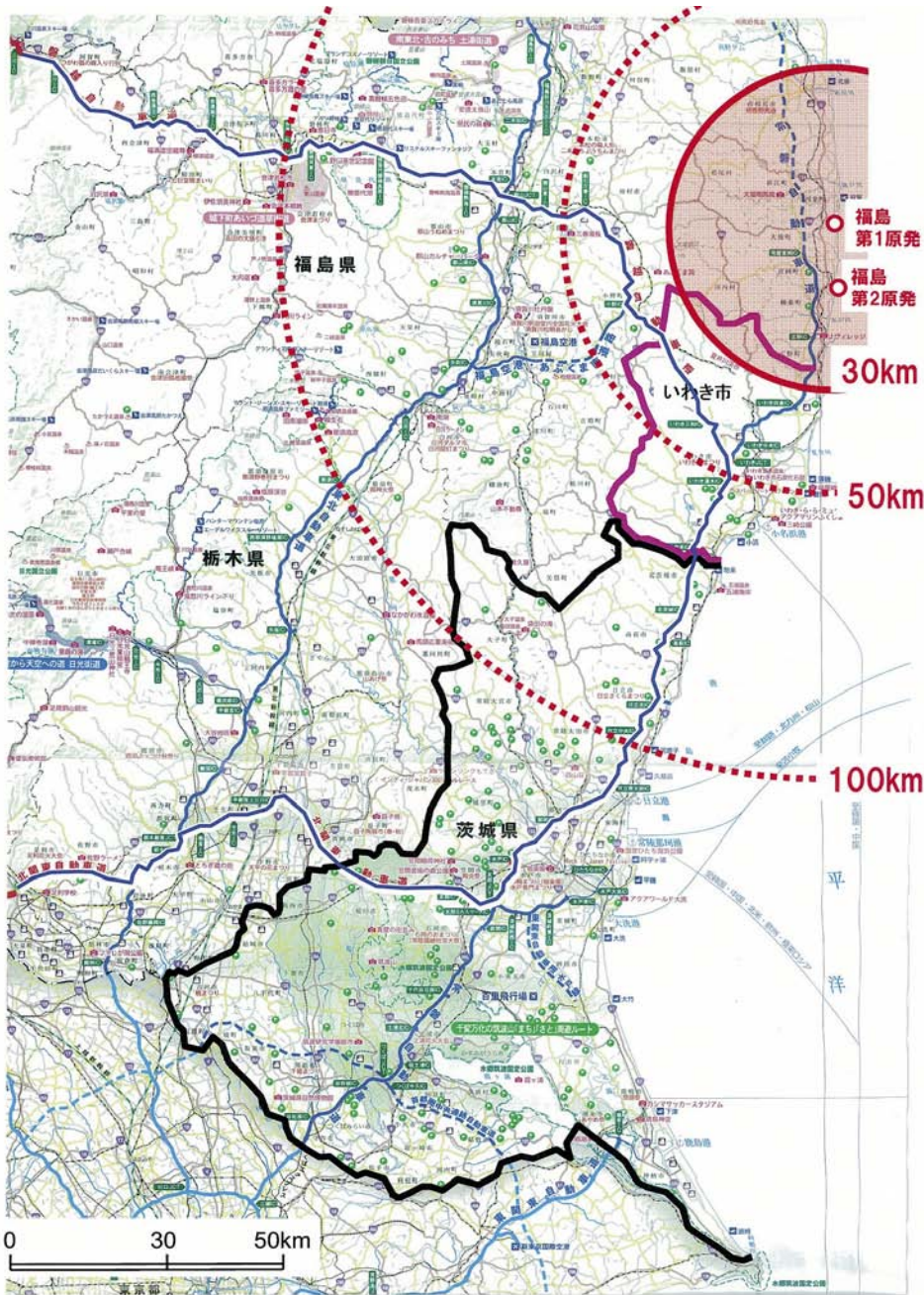


福島第一原子力発電所の事故に伴う影響について



本県（福島県との県境）は、福島第一原子力発電所から65キロメートル以上離れています。県が北茨城市などで放射線量を測定している可搬型モニタリングポストの測定結果では最大0.0158ミリシーベルト/時（3月16日11:40）を観測しましたが、これは胸部レントゲン撮影時の3分の1程度のレベルで、**健康に影響はありません。**

なお、その後の測定結果では、放射線量は大幅に減少しております。

放射線量の測定結果は、茨城県のホームページ (<http://www.pref.ibaraki.jp/>) で公開しています。

本県の野菜は安全です

本県産ホウレンソウから検出された放射線量（3月18日分析）は、100グラムを摂取した場合でも、0.09ミリシーベルト/時で、日本人の一人当たり平均摂取量20グラムを1年間継続して摂取した場合でも、全身CTスキャン1回分程度です。

また、県では、ネギ、キャベツなどの農産物18品目、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵の畜産物4品目、揚げかまぼこ、シラス干しの水産加工品2品目について、放射線量の検査を行いました。いずれも**暫定規制値以下で安全です。**

本県の牛乳・乳製品は安全です

3月23日に出荷制限の指示があった本県の原乳については、4月10日に出荷制限が解除されました。本県産の原乳を原料とした牛乳と乳製品は**安全です。**

本県の水産物は安全です

本県沿岸で漁獲されるイカナゴ（コウナゴ）を除き、**いずれも規制値を下回っています。**イカナゴ（コウナゴ）については、4月5日付けで安全が確認されるまで出荷を控えるようお願いしております。

なお、震災以降、県内でイカナゴ（コウナゴ）は一切水揚げされておきませんので、**店頭に出回っている本県産コウナゴ（小女子）の煮干しや佃煮は心配ありません。**

本県の水道水は安全です

水道水は、県内の7市村で、一時、乳児に対する摂取自粛に係る基準値100ベクレル/kgを超過する放射性ヨウ素が検出されましたが、最大値でも298ベクレル/kgと国の暫定規制値以下であり、**3月27日以降、県内44市町村の全てで、100ベクレル/kg未満となっております。**

放射性セシウムは、不検出もしくは、検出された場合でも値が小さく**安全です。**

* 国の暫定規制値は、1年間継続して摂取した場合に健康に影響を及ぼす可能性があるとの懸念から設定されたものです。

野菜20gを1年間食べ続けた場合の放射線量 (作物毎に現在までで最も高い濃度の場合)

